

開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

たきざわ市議会だより

第6号
平成27年5月5日
発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広聴広報常任委員会



議会への期待など意見を交わす参加者と議員

滝沢市議会は4月19日、滝沢ふるさと交流館で議会が果たす役割や今後の課題について「市民と語る議会フォーラム」を開催しました。

フォーラムは、これまでの議会の活動や7月の市議会議員選挙に向け、情報などを広く市民の方々と共有するために、ワールドカフェ方式で行いました。市民100人が参加。議会について感じることや期待する点、チェックのクロスが敷かれ、カフェのような雰囲気の中で賑やかに開催されました。議員定数、議員報酬をテーマに20グループで議論の望ましい姿についてさまざまな意見を交わしました。

今後は、議会報告会や市民懇談会を開催し、さらに市民の意見を集約していく予定です。

議会に感じる点と期待すること

会場のテーブルにはチェックのクロスが敷かれ、カフェのような雰囲気で、意見を出しても結果を得られない。「市民の意見を聞く機会を多く設けて

市民と語る議会フォーラム
市民とともに歩む議会を創り出す

気の中で賑やかに開催されました。議会アドバイザーの佐藤淳氏の進行で各テーブルに議員1名が入り、意見を交わしました。

テーマでは、議会について感じる点や期待すること、話し合いました。「議会のしくみや議員の活動がよく分からない」「議会報告会などで意見を聞いても結果を得られない」「市民の意見を聞く機会を多く設けて

ワールドカフェ方式で意見交換

フォーラムの第一部は滝沢市議会アドバイザーの江藤俊昭氏と佐藤淳氏に基調講演をいただきました。

江藤氏は、「住民自治と議会の役割」と題して、全国の議会の動向を踏まえながら、議会のありべき姿を示しました。また、今後の進むべき方向として広聴の必要性や住民の意見をしっかりと政策に反映することの重要性が提起されました。

佐藤氏は、「滝沢市議会の改革と議会改革の最新動向」と題して、改革の現状を捉えながら、今後の方向性を示しました。



テーブル毎に話しが弾む会場

ほしいな、口頭感じている思いがたくさん寄せられました。テーマでは「議員の定数と報酬についてどう思うか」というテーマで話し合いました。「若い世代や女性議員の必要性」「投票率の低下問題」「議員活動量の増加」など、活発な意見が出されました。

また、ワールドカフェ方式の体験は初めての方が多く、今後も継続してほしいという声をたくさんいただきました。



意見を模造紙に書き出しする参加者

議会アドバイザーの江藤先生(左)と佐藤先生

様々な情報にアンテナを高くし、今以上に積極的な行動を進めていくことが課題と提起されました。

市議会からは、議会改革推進会議の角掛邦彦委員長が、現在までの会議の内容と、議会評価、議員定数、議員報酬の方向性について報告をしました。

参加者の声

白澤 仁さん
変革しようとする市議会の取り組みが分かった。市民の声を反映した政策提言型の議会を期待します。

田上 美佐子さん
参加できて良かった。自分の意見も言えたり、議員の話も聞くことができて議員との距離が近くなりました。若い方々に参加してほしいし、幅広い世代を集める手段をお願いします。

議案の審査結果

3月会議

全員賛成で議決した議案

議案第 3号	平成27年度滝沢市後期高齢者医療特別会計予算
議案第 5号	平成27年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計予算
議案第 6号	平成27年度滝沢市簡易水道事業特別会計予算
議案第 7号	平成27年度滝沢市水道事業会計予算
議案第 8号	平成27年度滝沢市下水道事業会計予算
議案第 9号	平成26年度滝沢市一般会計補正予算(第10号)
議案第10号	平成26年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
議案第11号	平成26年度滝沢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
議案第12号	平成26年度滝沢市介護保険特別会計補正予算(第5号)
議案第13号	平成26年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第4号)
議案第14号	平成26年度滝沢市下水道事業特別会計補正予算(第5号)
議案第15号	平成26年度滝沢市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
議案第16号	平成26年度滝沢市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)
議案第17号	平成26年度滝沢市水道事業会計補正予算(第4号)
議案第18号	滝沢市行政基本条例を制定することについて
議案第19号	滝沢市いじめ防止等対策協議会設置条例を制定することについて
議案第20号	滝沢市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例を制定することについて
議案第21号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例を制定することについて

議案第22号	滝沢市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正することについて
議案第24号	滝沢市部設置条例の一部を改正することについて
議案第25号	滝沢市税外徴収条例の一部を改正することについて
議案第27号	滝沢市下水道条例の一部を改正することについて
議案第30号	滝沢市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
議案第31号	滝沢市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
議案第32号	滝沢市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
議案第33号	滝沢市立姥屋敷保育所設置条例の一部を改正することについて
議案第34号	滝沢市ふるさと水と土保全基金条例を廃止することについて
議案第35号	滝沢市交流拠点複合施設等新築工事請負変更契約の締結について
議案第37号	第1次滝沢市総合計画基本構想を策定することについて
議案第38号	平成26年度滝沢市一般会計補正予算(第11号)
議案第39号	平成26年度滝沢市一般会計補正予算(第12号)
発議第 1号	滝沢市議会委員会条例の一部を改正することについて

賛否が分かれた議案

議案番号	投票結果																				賛成票数	反対票数		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
議案第 1号	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	19	16	3	
議案第 2号	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	19	17	2
議案第 4号	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	19	16	3
議案第23号	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	19	16	3
議案第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	19	18	1
議案第28号	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	19	14	5
議案第29号	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	19	17	2
議案第36号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	19	18	1

○賛成 ×反対 一欠席
※1 黒沢明夫議員は議長であるため採決には加わりません。

議会事務局の紹介
議会に関することはなんでもこちらへ!

議会運営をサポートする、議会事務局員の紹介です。左から、中道俊之事務局長、高橋義行主任、阿部江利子主査、熊谷昇主査、滝田俊一総括主査

3月会議の傍聴者 41名

～お知らせ～
○ホームページで「滝沢市議会だより」や「議会会議録」をご覧いただけます。
○議場は、市役所4階です。
○日程、内容は予定であり、変更する場合がありますので、ご了承ください。

傍聴におでんせ!

5月10日(日) 市民議会「干支議会」
5月21日(木) 議会運営委員会
5月21日(木) 全員協議会
5月28日(木) 各常任委員会
6月 9日(火) 議会運営委員会
6月 9日(火) 全員協議会

6月16日(火) 6月会議※
6月19日(金) 各常任委員会
6月22日(月)～24日(水) 6月会議・一般質問※
6月26日(金) 6月会議※
7月 2日(木) 議会運営委員会
7月 9日(木) 7月会議※

地方交付税変更にもともなう市の財政運営は

普通交付税算定の変更で厳しい状況になります



春緑クラブ 角掛邦彦 議員

他に芋焼酎やイワナなどの特産品を一堂に会したイベントを検討します。

総合計画の周知・浸透対策は、中学生や市民との懇談を始め、県立大学生によるパンフレットを作成し、全戸配布します。

各種学力調査の分析により、授業改善ジョイントアップスクール事業等の推進を図り、小中連携による学力向上に努めます。

「特別支援教育支援員の配置状況と全校配置への考えは、小学校6校・中学校2校の18名を配置しています。」

「上の山」の除雪事業をどう評価するのか 模範的な取組で先進的な事例と捉えています

人のつながりや健康・安全安心・地域包括ケア実現に、現在の30自治会体制で十分か。

地方交付税の変更の影響と自主財源確保に向けた施策は、変更で運営は厳しい状況ですが、財務状況を明確にし、具体的施策を明らかにします。

今回の予算編成の方法は、予算要求をシリーズ方式からゼロベース方式で編成しました。

「地域別計画」策定に伴うサポート体制は、「地域づくり懇談会」への支援を「まちづくり

推進職員」で対応します。完成後の管理運営体制は、施設の一部を除き指定管理者制度等の導入を考えています。

農林業の位置付けと施策は、農林業は景観形成及び災害防止等の役割を果たしています。

利用しやすい交通網の整備は、交流拠点複合施設開設に併せて幹線バス網の整備を検討します。

「特別支援教育支援員の配置状況と全校配置への考えは、小学校6校・中学校2校の18名を配置しています。」

安全な学習環境を維持するため教育施設の改修と維持管理に努めるとあるが、即急に対応すべき案件は、大震災での天井の脱落対策に係る基準を国が法令改正しています。

上の山自治会が国交省の克雪体制事業に参加し、全国初の地域自治会総ぐるみの除排雪事業を展開したが、この取組みの評価は、雪処理を地域が一体となって解決しようとするもので、「住民自治日本一」を目指す本市にとって、模範的な取り組みです。

財政の見通しは、歳入の増額目標額を1億円、歳出の削減目標額を約2億円とし、収支改善策としています。

市職員と地域や自治会との関わりは、自治会や地域まちづくり推進委員会と協議しながら、今まで配置している市職員による「まちづくり協働推進員」の活用を含め、今後のサポート体制について研究します。

特色ある健康づくりの取り組み

各自治会の特徴や活動の歴史を踏まえ支援します



しのめ会 熊谷初男 議員

滝沢市が誕生して早一年となりました。

市制となり、市民の誰もが本当に住んで良かったと思える生活環境の変化を望んでいると思います。

長寿社会の健康と生きがいの支援をするために、睦大、老人クラブがあります。市内の60歳以上で活動している会員数の割合は、睦大が社会参加と生涯学習の機会を通じて、高齢者が健康でいきいきと暮らすことを目的とした高齢者大学です。

安全な学習環境を維持するため教育施設の改修と維持管理に努めるとあるが、即急に対応すべき案件は、大震災での天井の脱落対策に係る基準を国が法令改正しています。

市制となり、市民の誰もが本当に住んで良かったと思える生活環境の変化を望んでいると思います。

長寿社会の健康と生きがいの支援をするために、睦大、老人クラブがあります。市内の60歳以上で活動している会員数の割合は、睦大が社会参加と生涯学習の機会を通じて、高齢者が健康でいきいきと暮らすことを目的とした高齢者大学です。

安全な学習環境を維持するため教育施設の改修と維持管理に努めるとあるが、即急に対応すべき案件は、大震災での天井の脱落対策に係る基準を国が法令改正しています。

会派代表 質問

市長・教育施設方針に対する質問



一新会 長内信平 議員

自主財源確保の考えは、地域創生関連の事業等で対応します

自主財源確保の考えは、自主財源の根幹となる市税をいかに確保し、伸ばすかが重要である。

公共施設の総合管理計画の庁内調整は、28年度までに建築施設とインフラに係る施設を統合した管理計画の策定をめざし、庁内調整を図ります。

農工業の支援と産業振興の考えは、市内の事業所数は1408事業所、従業員数1万3800人です。

農林業は景観形成及び災害防止等の役割を果たしています。次代の担い手への経営基盤を強化し育成します。

利用しやすい交通網の整備は、交流拠点複合施設開設に併せて幹線バス網の整備を検討します。

安全な学習環境を維持するため教育施設の改修と維持管理に努めるとあるが、即急に対応すべき案件は、大震災での天井の脱落対策に係る基準を国が法令改正しています。

安全な学習環境を維持するため教育施設の改修と維持管理に努めるとあるが、即急に対応すべき案件は、大震災での天井の脱落対策に係る基準を国が法令改正しています。

子どもの医療費助成の拡充と保育料の軽減は

小学生の入院助成と保育料を軽減します



日本共産党 武田猛見 議員

障がい者支援および生活支援に対する主な事業は、子ども・子育て支援や医療費助成の拡充や保育料の軽減などの取り組みは、介護保険のサービスの運用と地域包括ケア実現のための施策は、新規は、理解促進研修・啓発事業、自発的活動支援事業、手話奉仕員要請研修事業です。

工事期間は26年から34年までです。関係法令により、今後予定工期の翌年度より8年間は農用地での開発行為は出来ません。

生活支援は、新たに施行された生活困窮者自立支援法とこれまでの生活保護法の一體的な運用で支援の充実に努めます。

農業委員会の改革は、単位農協が独自性を生かすことで組合員である農業者に有利に働く改革と認識しています。

就学援助の拡充は、これまで援助品目拡充に努めています。

生活支援は、新たに施行された生活困窮者自立支援法とこれまでの生活保護法の一體的な運用で支援の充実に努めます。

農業委員会の改革は、単位農協が独自性を生かすことで組合員である農業者に有利に働く改革と認識しています。

過去に建設した公共施設が大量に更新時期を迎える一方で、財政状況は

31年度開設のスマートインターチェンジや、盛岡西リサーチパークの完売を見据え、企業の誘致

31年度開設のスマートインターチェンジや、盛岡西リサーチパークの完売を見据え、企業の誘致

交流拠点複合施設への市内幹線バス路線の考えは、ルートは、現在運

交流拠点複合施設への市内幹線バス路線の考えは、ルートは、現在運

交流拠点複合施設への市内幹線バス路線の考えは、ルートは、現在運

情報公開		平成26年度政務活動費										
		政務活動費とは…調査研究活動をするために必要な経費の一部として、議員1名に月額15,000円を交付しています。(単位：円)										
項目	会派議員名	しのめ会 (4人)	春緑クラブ (4人)	一新会 (3人)	新志会 (3人)	日本共産党 (2人)	柳村一	相原孝彦	川原清	斉藤健二	計	
収入	政務活動費	720,000	720,000	540,000	540,000	360,000		180,000	180,000	180,000	3,420,000	
支出内訳	調査研究費		301,396	262,358	170,102			74,416			808,272	
	研修費	266,676		236,240	320,858			6,100			829,874	
	要請陳情等活動費	123,176	163,256								286,432	
	会議費										0	
	資料作成費										0	
	資料購入費					33,500	66,480		65,017	41,739	35,690	242,426
	広報費								128,305			128,305
	事務費											0
	その他				15,540	17,560				10,080		43,180
	計		389,852	464,652	498,598	540,000	84,040	0	145,533	180,124	35,690	2,338,489
返還額		330,148	255,348	41,402	0	275,960	0	34,467	0	144,310	1,081,635	

※ 柳村一議員は、請求していません。

第1専門委員会

第1専門委員会では審査を行うにあたり、主に企画総務部と教育委員会および環境課を除く住民環境部について歳出予算を審査しました。

企画総務課

問 「防災行政無線施設更新事業」について、事業供用開始時期と事業効果及び難聴地域への対策と気象条件などの影響は解消されるのか。

答 事業は27年度に完了し、供用開始は28年度から行います。事業効果は、

デジタル化により安定的に情報を供給できる予定ですが、また、防災行政無線が聞こえづらい住宅内への対策として、メール対応を考えています。

問 「ふるさと納税推進事業」のふるさと納税の

増やし、福祉支援相談員設置事業では福祉支援相談員と司法書士を設置しています。相談内容は生活困窮、契約や財産問題、医療などとなっております。

第2専門委員会

第2専門委員会では審査を行うにあたり、住民環境部環境課及び健康福祉部について歳出予算を審査しました。

環境課

問 ごみ処理広域化検討事業について、広域化の検討作業はごままで進んでいるか。

答 検討作業については昨年8月の全員協議会で報告済みですが、1月22日の首長の集まりで決定されました。準備室は27・28年の協議会に室を

問 重点事業の放課後児童健全育成事業は、小学校の建設と同時に学童クラブを一箇所建設し分散

する計画だったが、小学校建設が先送りになった今、またたきで建物を作る必要はないのか。

答 うかがって学童クラブの待機児童の解消については周辺の学童クラブと調整し、空き屋なども利用していくことで運営上検討を先いします。

問 同様の施設事故についての安全対策の考えは、

答 同様の施設事故についての安全対策の考えは、

問 国民健康保険特別会計の歳入において、国民保険税がこれまで微増で推移しているが、微減の

原因は、「つま

第3専門委員会

第3専門委員会では審査を行うにあたり、経済産業部、農業委員会、都市整備部及び上下水道部について歳出予算を審査しました。

農林課

問 「農業生産管理機械整備補助事業」の28年度の減額内容は、また、補助対象は、

答 これは滝沢市独自の事業であり、要望する機械を聞いて、その購入に関する補助を行うもの

で、3戸以上の農家及び産直組合などに対して行うものです。28年度の減額は、低温貯蔵器がなくなるためです。

商工観光課

問 「農産物地域ブランド化推進事業」でPRの方法は、

答 PRは、のほり、ブランドシール、パンフレットの作成が中心です。PRの場所は、スイカ祭、産業祭、スイート祭り等のイベントが中心

ですが、本市にゆかりのあるスポーツ選手応援のため、スイカをはるかを送り県外にもPRしています。

問 「滝沢市特産品開発事業」の減額内容は、また、物産展開催の計画内容は、

答 減額の要因は、「つま

教育総務課

問 「学力向上 指導力向上事業」では、学力向上のために取り組んでいるラーニングサポーター

を積極的に見えてこないが、より質の高い教育をめざすために、他市町村との比較を公表すべきと考えるが今後の対策は、また、安定と活力の

要因についての考えは、

答 次期総合計画における指標として、全国平均を上回っている学校の数を上げています。公表は慎重にしていかなければならないという観点で、安定と活力について

住民協働課

問 「参画・協働推進事業」では、男女共同参画計画の周知に係る具体的な内容や、審議会等における女性委員登用率の目標値の設定はどのように

しているか。

また男女共同参画サ

自由討議

ポーター認定者の数と男性が少ないことへの対策は、

答 計画は、HPや推進委員会、サポーターと連携を取りながら周知していきます。また、サポーターの数は31名であり、さまざまな機会を捉えて男女比に対応していきます。

問 「滝沢地域デザイン推進補助事業」について

全体の活動の底上げや、地域間競争のための助成金について、助成金制度を引き上げる考えはないか。

討論

採決に先立ち、それぞれの会計ごとに反対・賛成の立場で討論が行われました。

●一般会計

●国民健康保険特別会計

●介護保険特別会計

賛成 桜井博義 議員 (日本共産党)

予算総額は205億2000万円。これまでにない伸び率と予算額になっています。

賛成 山谷 仁 議員 (新選党)

27年度滝沢市一般会計は、第一次滝沢市総合計画・基本計画の理念の下「幸福感を大きくも環境づくり」の実現に向けて、実際に市民と行政が共に取り組む「地域社会行動計画」の初年度の予算であります。

賛成 武田猛児議員 (日本共産党)

国民健康保険は、ほかの公的医療保険に属さない人々が加入するため、雇用や労働の状況の変化や産業構造の変化、人口の構成割合の変化等に直接の影響を受けることになり、近年の雇用現場では、派遣やパート労働者などの非正規雇用労働者の増大、フルタイムで働いても生活保護基準以下の収入というワーキングプア世帯の増加などの事態が増えており、国保の加入対象となる人々が増加していることを意味しているものです。つまり、国保には、他の医療保険に加入できない人々を支えるという役割

反対 桜井博義 議員 (日本共産党)

第6期計画は、今後増え続ける高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために、介護保険制度を利用しやすく、特に予防支援を充実して健康に生きていける施策が求められています。

反対 桜井博義 議員 (日本共産党)

国においては昨年4月からの消費増税、税収は増えるものの大企業には減税、3年連続で軍事費は増額しています。一方で社会保障費のためと言いつつ自然増の社会保障費は削り、医療、年金、介護などをともても庶民の負担は増すばかりです。

反対 武田猛児議員 (日本共産党)

本市の財政状況については、地方消費税交付金の増加はあるものの、市税及び地方交付税を含めた一般財源の増加は見込まれません。一方の歳出においては経常経費の増加により、独自政策への自由度が低下している現状にあります。

反対 桜井博義 議員 (日本共産党)

この厳しい状況の中で、産業振興に寄与できる

反対 桜井博義 議員 (日本共産党)

第6期計画の初年度として積立金を盛り込んでいます。この数字から判断しても、負担は増えるが給付は減らされることが何われず。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。

自由討議

自由討議のテーマは、質疑の内容を踏まえ①学童保育について②生活保護等について③高齢者介護保健計画について④です。



滝沢中央小学校 整備事業延期に伴う「緊急質問」

滝沢中央小学校整備事業のスケジュールが、最大で2年延期されたことを受け、市議会では3月4日に、当局に対し緊急質問を行いました。

日本共産党

桜井博義 議員

しのがめ会

武田哲 議員

新志会

高橋盛佳 議員

会派に属さない議員

柳村一 議員

校舎棟の工事を優先的に進める考えは、分割工事は難しく、学校運営から好ましくないと考えます。

建設費の高騰に よるものです。

建設費の高騰は、予想できたことですが、教育委員会と財政担当との協議は、東日本大震災以後、建築資材の高騰が顕著で、深刻な問題です。

中央小学校の事業費は、当初28億円が33億円に、そして予算編成時点では43億円となり、27年度当初予算に組み込まれていました。

開校延期による滝沢小学校及び鶴飼小学校の教室不足の対応と、鶴飼児童クラブ定員超過への対策は、教室不足は、特別教室で対応します。

また、児童クラブは、近隣クラブと連携し対応します。

市長の公約である小学校や人道橋の建設が遅れますが、その対応は、早期建設に最大限努力します。

校舎棟と体育館は一体的な整備を計画しており、分割工事は難しく、学校運営から好ましくないと考えます。

一般財源に目途がたないとしていますが、他の投資的経費の見直し等の検討は、市民や関係団体からの意見を基に、設計の見直しを含め取り組みます。

建設中止を視野に入れている考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。

建設中止の考えは、国への要望活動に取り組みます。



開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会 議会報告会を開催します

議会活動を市民に報告し、皆さまの声を聴く場、意見交換の場として、議会報告会を開催します。

今年、市議会議員選挙が7月19日告示、26日投票のため、5〜6月中の開催予定です。



今後、各自治会からの申し込み等を受けて、開催日等を決定します。

皆さまの地域に議員がおり、ぜひ参加の上、ご意見等をお聞かせください。

募集コーナー

みんなが議会を支えよう!!

○議会モニター

「議会モニター」は、あわせて3名となりました。より良い滝沢市の発展のため、議会を通じて一緒に活動しませんか。

○議会サポーター

「議会サポーター」は、あわせて6名となりました。定員はありませんで、多くのご応募お待ちしております。

○市議会だより掲載写真

主にメイン写真(1ページ)に掲載する写真を募集しています。皆様からの投稿をお待ちしています。テーマは「滝沢らしさ」です。

○応募方法・お問い合わせ

- 「議会モニター」「議会サポーター」は、それぞれ申込書があります。
- 申込書は、市議会のホームページからお取り寄せいただくか、議会事務局(656-6591直通)へご連絡ください。
- 申込書はFAX:684-4195
- または、E-mail gikai@city.takizawa.iwate.jp
- 提出ください。

環境厚生常任委員会 調査活動報告

滝沢相の沢温泉入浴施設 「お山の湯」の管理運営について

調査日/26年7月24日、26年10月16日、27年1月29日
視察日/26年11月20日

本市の「お山の湯」は、年間約2000万円の運営経費及び設備維持修繕費が掛かり、財政面の議論があったものの、高齢者福祉の増進と介護予防の推進、周辺施設の活用への寄与、住民との懇談の機会における存続を求める声などを考慮し、向こう3年間は引き続き指定管理者制度で運営する方針としています。

しかし、利用者数が減少していること、更に経年とともに維持管理の経費が増加することがあられ、特にも源泉ポンプの更新が費用を押し上げている状況にあることから、庁内にプロジェクトチームを設置し、関係課による協議の場を設け、検討を始めています。

委員会では、今後の施設のより良いあり方について、調査を行いました。また、先進事例として、群馬県渋川市と新潟県魚沼市を視察しました。

視察先での調査内容

合併により多くの市有温泉施設を抱えることになり、同一の目的を持った同様の施設を数多く有することは財政的に負担となることから、施設のあり方を検討して実状にあった運営方法を検討しています。

その中の一例では、地域の振興に向けた交流人口の拡大を図るため、農業を含めた自然体験と観光を融合した「農観業の取組みを進めるなど、新たな戦略について議論と研究を重ね、地域ならではの観光の確立をめざしていました。



滝沢相の沢温泉入浴施設「お山の湯」

指定管理者のNPO法人ファーストクラブは、利用者を増やすために、さまざまな自主事業を提案するなど運営改善のための努力を行っています。しかし、指定管理者としての契約上の制約もあり実現できない提案もあります。このことから、さまざまな制約を取り払い、指定管理者のアイデアを生かした自主事業ができるように支援すること、若山山麓の豊かな自然を観光の面で生かしていくことで、可能性を追求することが必要と考えます。

市内の墓地の現状について

調査日/26年10月16日
視察日/26年11月19日

市内には、寺院墓地と集落共同型墓地があり、区画総数からみると寺院墓地では空き区画は50%、宗派を問わず使用できる墓地公園は90%が空き区画となっており、ひっ迫した状況ではありません。また、近年、墓地を継承する人がいなくなってきたり、無縁墓が増えてきていること、管理費の滞納や所在不明といった問題が発生しています。

委員会では、東京都立小平霊園を視察し、問題について調査しました。

視察先での調査内容

小平霊園は、昭和23年に開園した東京都立の霊園で、霊園の敷地の約半分が墓所であり、残りの半分は樹木や草地・園路となっているため、墓参りだけでなく散歩を楽しめる地域に感じられた。また、小平霊園は、周辺の広域避難場所にも指定されています。

小平霊園は、生前の申込が可能である点が特徴になっており、「自然が好きで自然に還りたい」「跡継ぎがない」「お墓には抵抗がある」などさまざまな理由から樹木葬を選択肢とする人が増えています。

また、小平霊園は指定管理による霊園墓地であり、指定管理者は公費の削減と住民サービスの向上に努めています。



東京都立小平霊園の様子

委員会の考察

墓地需要の増加、家族形態や墓地への意識の変化などによる多様なニーズに対応する必要がある。さまざまな形態が備わった宗教にとらわれない墓地公園などの整備を進めていく必要があると考えます。